

季節風

2017. 1. 10
NO.14
山鹿市立鹿北中学校
文責：郡 一路

新しい年の目標を明確に！

二〇一七年がスタートしました。あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしく願います。

いよいよ、今日十日より三学期が始まりました。生徒のみなさん、自分の目標をはっきりと見つめることができますか。

三年生は、いよいよ自分の進路を勝ち取る勝負の時を迎えます。何をすべきかは明らかです。悔いのない一日一日を送っていきましょう。ただ、高校進学は目的ではなく、あくまでも自分の夢に近づくための途中駅であり通過点です。そのことを忘れず、今の努力する姿勢を夢の実現まで継続していったほしいと思います。「継続は力なり」です。

二年生は、生徒会活動や部活動、様々な活動の中心者として学校を発展させていく責任があります。発想豊かに、意欲をもって具体的な活動を創造して下さい。**鹿北中の「文化」を創る**という気概をもって頑張ってください。

一年生は、いよいよ今年は一歩一歩になります。新入生から信頼され、そして尊敬される先輩になって下さい。一生懸命な姿で先輩を引っ張ることが出来る先輩であることを期待します。

さて、箱根駅伝で三連覇を成し遂げた青山学院大学の原監督は、選手をスカウトする時、「**自分の言葉で表情豊かに、笑顔で目標を語ってくれ**る人材」を選ぶと話していました。この言葉を聞いた時に、

新聞・雑誌回収ボックス

鹿本商工高校の生徒と先生が、鹿北中のために、回収ボックスを作ってください、自転車置き場に設置しました。生徒会長が感謝の気持ちを伝え、今まで集められた新聞や雑誌をさっそく回収ボックスに入れました。回収ボックスは2つあります。保護者の皆様、地域の皆様ぜひたくさんの新聞・雑誌の提供をよろしくお願いいたします。



鹿北中の文化を創ろう

〜帝京大学ラグビー部 強さの秘密から〜

ラグビー大学選手権八連覇。学生が入れ替わる大学にあって勝ち続けることは至難の業。なぜ帝京大学ラグビー部はこれほど強いのか。そこには、学生が卒業しても受け継がれている「文化」の存在がある。それは、「小さなゴミを拾う」「掃除を丁寧に」「大きな声で挨拶する」「ラグビー以外のことも手を抜かない」などの行動を最上級生の四年生が率先して行うという「文化」。岩出監督は「ロールモデルは先輩」と言い、新

入生も先輩の姿を通して、ラグビーの技術を磨くだけでなく、人として成長していく。四年生の生き方、行動が社会で通用する人を育てていく。帝京大学ラグビー部には、毎年そんな自立した学生集団ができていく。そこにこそ強さの秘密がある。鹿北中にもそんな「文化」を創っていききたいと思う。

今年も様々な活動を通して、「一人でも勝負できる」そんな人材が集う学校を、生徒、教職員、保護者や地域の方々と共につくっていききたいと決意を新たにしています。

